

脳梗塞患者に対するtPA使用率

目的

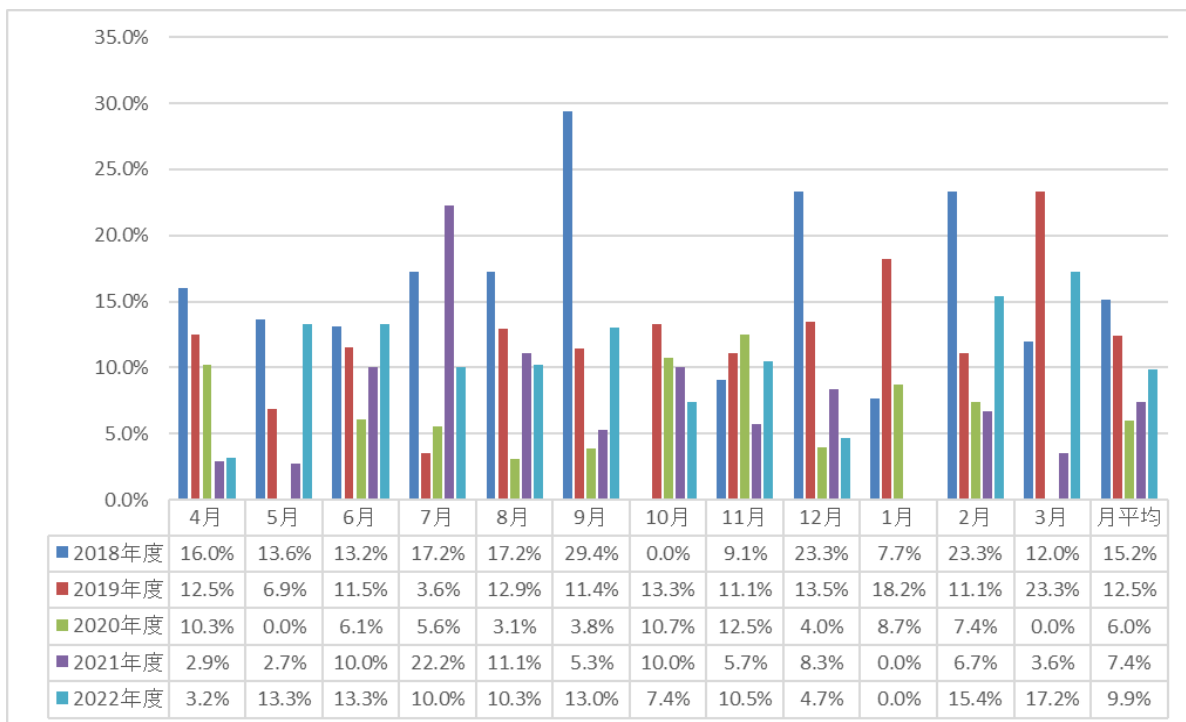
超急性期脳梗塞の治療(発症後24時間)の指針となるtPAの実施状況を示す

分母

脳梗塞の患者の退院数

分子

脳梗塞の退院患者の内、入院中にtPAを使用した患者数



データ抽出内容

- ①各年度の月平均退院患者数 2018年度n=27人 2019年度n=30人 2020年度n=29人 2021年度n=28人 2022年度n=28人
- ②患者数は、一連の入院から退院をもって1とカウントとする。
- ③010060「脳梗塞」の診断群分類の患者を対象とし、内、入院中にtPA(当院採用クリアクター静注用)を使用した患者をカウントする。よって、併存症として脳梗塞がある患者は対象としない。

データ分析コメント

tPAの適応時間が発症から4.5時間までに拡大され、当院脳神経内科でのtPAを用いた脳梗塞超急性期症例に対する積極的治療体制を反映しています。
ここ数年は、コロナ禍の状態であり、患者受診者数自体が減少しているのに呼応してtPA施行数も減少していたが、最近ではコロナ禍が開け、徐々にtPA施行数も増加してきています。